

大阪大学レーザーエネルギー学研究センターESCO 事業提案審査の講評

大阪大学レーザーエネルギー学研究センターESCO 事業は、民間事業者のノウハウ、技術的能力を活用することによって、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的削減を図ることを目的にしたものです。先般、広く事業提案を募集したところ4企業グループから参加表明及び提案書が提出されました。

大阪大学レーザーエネルギー学研究センターESCO 事業審査委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り、厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者として三機工業（株）を、優秀提案者としてアズビル（株）を選定致しました。

最優秀提案では、現状の負荷特性を把握した上で、熱回収チラーをはじめとする高効率機器導入や二次側搬送系の最適化など、中央熱源システムに関する省エネルギー化提案に加え、水冷パッケージの運転方法、空調機の除湿方式、空調機搬送動力のロスなど、熱源設備以外の不具合箇所を数多く見出し、これらの解決も含めてエネルギー消費量・二酸化炭素排出量とともに35%以上削減するという非常に大きな保証値が示されました。各提案や更新計画に具体性・妥当性があり、全体としてバランス良く提案されていることなどを高く評価しました。

また、優秀提案では、予備機を含め既存熱源全てを更新対象とした上で、高効率熱源機器やフリークーリングシステム、BEMSの導入のほか、研究施設の運営特質に併せた的確な技術提案がなされ、財政面やリスク回避の配慮においても優れていることを評価しました。

今回の募集に際しては、研究施設としての特質を踏まえ、リスクや管理計画に対して配慮された既存熱源設備の更新計画を要請致しました。各グループからは、これに応じた様々なシステムのご提案があり、搬送系の運転最適化、各種省エネルギー制御技術や遠隔エネルギー管理システムの導入など、省エネルギーと二酸化炭素排出削減につながる意欲的で優れたアイデアが多数盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、このような高い技術力と新しい着想に基づいた貴重な提案を頂き、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成25年5月21日

大阪大学レーザーエネルギー学研究センターESCO 事業審査委員会委員長
馬場章夫